

---

プロジェクト **のれん及び減損**

項目 **議論の概要**

---

## 本資料の目的

1. 本資料は、国際会計基準審議会（IASB）ののれん及び減損の研究・プロジェクトに関連する最近の（今後予定されているものを含む）議論の内容をご説明することを目的としている。

## 2018 年 5 月開催の IASB ボード会議

2. 2018 年 5 月開催の IASB ボード会議において、次の事項が暫定決定された。
  - (1) ヘッドルーム・アプローチのみに関するフィードバックを求める文書の開発は行わない。
  - (2) 今後の IASB ボード会議において、公表すべき協議文書の形式及び内容についての議論を継続する。
3. なお、ASBJ 事務局は、2018 年 5 月の IASB ボード会議の傍聴を通じて、今後ののれん及び減損の研究・プロジェクトの方向性について、IASB ボードメンバー及び IASB スタッフより次のような発言があったと理解している。
  - (1) 今後の IASB ボード会議では、包括的なパッケージとしてディスカッション・ペーパーなどの協議文書をドラフトすることを前提として、そのために IASB ボードにおいてさらに議論が必要となる項目に関する IASB スタッフの分析を提示する予定である。その中には、適用後レビューで識別された問題、これまでの議論を通じて IASB が学んだこと、識別された問題に対する解決策として協議文書に含めるべき代替案などが含まれる予定である。
  - (2) のれんの減損損失の認識のタイミングの問題については、のれんの償却や即時償却などの代替的な解決策を含めて再検討すべきである。また、開示に関する改善も重要であり、例えば、のれんがない場合の資本を示す表示又は開示が有用であることも考えられる。

## 2018 年 6 月開催の IASB 及び FASB 合同ボード会議

4. 2018 年 6 月 19 日に開催予定の IASB 及び米国財務会計基準審議会（FASB）の合同

ボード会議において、のれん及び減損のリサーチ・プロジェクトに関連して、両審議会それぞれの作業についての情報交換を目的とした議論が行われる予定である。

5. 当該合同ボード会議のアジェンダ・ペーパーでは、両審議会のメンバーが、特に、「のれんの償却」並びに「企業結合、のれん及び減損に関する開示」について、それぞれのリサーチ・プロジェクトに関する質問を行う機会があることが示されている。
6. なお、当該合同ボード会議は教育セッションとして行われるものであり、両審議会が何らかの意思決定を行うことは予定されていない。

## 2018年7月開催のASAF会議

7. 2018年7月9日及び10日に開催予定の会計基準アドバイザリー・フォーラム（ASAF）会議において、のれん及び減損のリサーチ・プロジェクトに関連して、企業結合、のれん及び減損に関する開示に関する議題が取り上げられる予定である（審議事項(1)-2-2参照）。

以上